

千厩中学校入学式 千厩中58名・清明支援中学部3名 希望を胸に R7.4.7



式辞を述べる坂本 真校長

千厩中学校及び一関清明支援学校千厩分教室中学部の入学式が4月7日に行われ、千厩中58名、清明支援中学部3名が新たな希望を胸に中学校生活をスタートしました。

千厩中の坂本 真校長は、式辞の中で「皆さんは、10年後・20年後どこで何をしているでしょうか。」と問いかけ、大切にしたいこととして「失敗すること」を挙げ、「失敗は人を成長させます。大事なことは失敗を認めること。上手に失敗すること。ただし、避けるべき失敗は命、心、体を傷つけること」と呼びかけ、失敗を恐れず、それぞれの目標に向かって思い思いの中学校生活を頑張りたいと新入生を励ました。

また、清明支援学校の外館 悌校長は、「千厩中学校とみなトモ学級は、共に支え合い、育ち合う姿を示している。双方の良さが発揮され、望ましい姿を見せてくれることを願っている」と17回目の新入生に暖かな眼差しを送っていました。



一人ひとり呼名に答える新入生

千厩小学校入学式 拍手に迎えられ46名がにゅうかく R7.4.8



元気で入場する新一年生

千厩小学校では、4月8日に入学式が行われ、大勢の拍手に迎えられ46名が新一年生として入学しました。今年も、清明支援学校小学部の入学者はありませんでした。

伊東洋司校長は、「あいうえお」のことで「あいさつ、いのち、うんどう、えがお、おともだち」の大切さをお話しました。舞台には「にゅうかくおめでとう」の装飾やイラスト、きれいな花の鉢植えも飾られた式場に、ピカピカの服装に花のリボンと名札を付けた緊張気味の一年生。途中であくびをする子や式辞や告示にも元気に「はい」と返事する子ども達もいましたが、来賓や保護者、新6年の在校生に見守られながら、無事に式は終了。「となりのトトロ」のメロディーに乗って元気に退場しました。



名前を呼ばれ 大きな声で返事

農事組合法人おくたま農産 第18回通常総会 創意工夫の運営 R7.4.20

農事組合法人おくたま農産の第18回通常総会が4月20日に維新館で組合員30名が出席し開かれました。令和7年度事業計画など提出議案5件は、いずれも出席者の満場一致で可決されました。

開会の挨拶で小野寺勝義代表理事組合長は、交付金の減額による事業計画の見直しや記録的な猛暑と夏以降の降雨など気象変化に悩まされた一年を振り返りながら、資材価格の高騰や物価高、「令和の米騒動」と言われる米価格の高騰など国内情勢が混とんとする中、組合運営は厳しい状況が続いているが、各生産部会の創意工夫でコスト削減などに努め、黒字決算で終わることができたと語り、組合運営へのさらなる理解と協力を求めています。

議案質疑の中で組合員からは、「剰余金処分案に係る詳細の説明」の質問のほか、「組合員への出資配当の検討」を求める意見や「米価格の高騰に対する実態調査や農産から組合員への助成検討」「主食用米作付けの拡大」などを求める意見が出されていました。

法人おくたま農産



挨拶する小野寺勝義組合長



各議案の採決は挙手で確認

ふるさとセンター前庭の桜、今年も提灯ライトアップ

奥玉ふるさとセンター前庭の桜の開花に合わせ、今年も提灯によるライトアップを行いました。提灯は4月14日に設置・点灯開始し、施設利用者などからも好評で桜が散った後も4月いっぱい点灯しました。



春の室根山周辺ごみ拾い 山開きの前に清掃活動 R7.4.9

室根、千厩、大東にまたがる室根山の山開きが4月13日に行われましたが、それに先立ち4月9日には3地域の市職員や関係団体などから約30人が参加して恒例の環境美化活動が行われました。

主催する室根総合開発の呼びかけにより、奥玉振興協議会や飛ヶ森キャンプ場をきれいにする会からも4名が参加し、キャンプ場から室根高原牧野までの道路沿いのごみ拾いを3時間ほど行い、景観保全に努めました。

当日は、タイヤや空き缶、ペットボトル、紙くすなど軽トラック1台分のごみが回収・処理されました



道路沿いのごみ拾いをする参加者



集めたごみの分別作業

中日向長生会 市民センター出前講座で「ニュースポーツ体験」 R7.4.14

中日向長生会(藤野晃会長)の4月の老人センター利用日に合わせて、14日奥玉市民センターの職員が出向き、ニュースポーツ体験としてスローイングビンゴ競技に参加者で楽しみました。

この日は、老人センターの事務連絡や千厩音頭に合わせた準備体操を全員で行った後、早速、競技ルールやゲームの進め方を説明し、12名が2チームに分かれて競技を体験。

最初のゲームではビンゴは出なかったが、2回戦では両チームともビンゴになり、同点で延長戦になる白熱した試合展開となり、休憩をはさみ3回戦を行った。得点の計算も簡単足し算をしながら脳トレ。参加者からは「とても楽しかった。また体験したい」「みんなで楽しむのが一番です」などの感想が寄せられました。

老人クラブへのニュースポーツ体験の出前講座は今年2回目です。



スローイングビンゴの体験会 (千厩老人福祉センター)

自然豊かな飛ヶ森キャンプ場を満喫 三重県から来訪 R7.4.29~5.7

三重県松阪市の石井理文(よしふみ)さんは、愛用のキャンピングカーで全国各地の旅を楽しまれています。飛ヶ森キャンプ場のことは奥州市の友人から紹介されたということで4月29日から5月7日まで飛ヶ森キャンプ場を利用されています。これまでも沖縄から北海道まで全国一周したこともあるという石井さんは、全国に知人や友人がおり、定年後にアルバイトで勤務している三重交通で老人施設等の送迎業務を担当。今回は休みを利用し、東北方面を訪れたとのこと。「こんなに手入れされたキャンプ場が無料とは申し訳ない。協力金ぐらい貰えばいいのに・・・」と語り、飛ヶ森周辺や大東ふるさと分校「まきばの湯」など室根山の環境には大満足のご様子。



一緒に旅をするパートナーの一子(かずこ)さんとは昭和32年生まれの子供の同い年。「少し風が冷たいけど、震災復興も願い、素晴らしい東北の自然を楽しみます」と2匹のトイプードル「チェリー」と「ナナ」ちゃんを抱きながら一子さんは笑顔で話してくれました。

写真は、飛ヶ森キャンプ場でくつろぐ石井さん2匹のトイプードルが可愛い。(4/29)



どんぐりりん



ニコニコ・ファインメック樹



飛ヶ森キャンプ場



奥玉ふるさとセンター



種蒔桜



種蒔桜